

科目・教育内容

科目名	人体の構造と機能 I	
単 位	1 単位：15 時間	
開講期	1 年次 4 月	
講師名	非常勤講師	
目 標	血液の組成、心臓と血液循環、組織・血液間の物質のやりとりに関する基本的事項を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1 回目	血液の組成、赤血球とヘモグロビン、白血球の機能	講義
2 回目	血小板、血液凝固過程、線溶	講義
3 回目	血液型、血管の構造と名称、血液循環とその調節	講義
4 回目	顕微鏡実習（赤血球、好中球、リンパ球、白血球増加症）	演習
5 回目	心臓の構造と各部の機能、自律神経による調節、冠血管	演習
6 回目	心電図実習	演習
7 回目	心電図、血液循環、リンパ系、血漿膠質浸透圧と浮腫	講義
8 回目	総復習	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①	
参考文献		
その他	心電図・血液像の顕微鏡演習	

科目・教育内容

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 細胞・組織とその機能が理解する。 2. 骨・関節・筋系の構造と機能が理解する。 3. 運動を司る神経系、体性感覚について理解する。 4. 生殖系の構造と機能、人体の発生について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	細胞とは 1. 人体の構造と機能の基礎知識 1) 人体とは何か 2) 人体の素材としての細胞・組織 (1) 細胞の構造 (2) 細胞を構成する物質とエネルギー (3) 細胞膜の構造と機能 (4) 細胞の増殖と染色体 (5) 組織	講義
2回目	組織～器官系 1. 人体の構造と機能の基礎知識 3) 構造と機能からみた人体 (1) 構造からみた人体 (2) 機能からみた人体 (3) 体液とホメオスタシス	講義
3回目	骨の代謝と構造 1. からだの支持と運動 1) 骨格とは (1) 人体の骨格 (2) 骨の形態と構造 (3) 骨の組織と組成 (4) 骨の発生と成長 (5) 骨の生理的な機能	講義
4回目	骨格の構成 1. からだの支持と運動 2) 骨の連結 (1) 不動性の連結	講義
5回目	動くしくみ 1. からだの支持と運動 2) 骨の連結 (2) 関節	講義
6回目	筋の収縮と体幹の筋 1. からだの支持と運動 1) 骨格筋 (1) 骨格筋の構造 (2) 骨格筋の作用 (3) 骨格筋の神経支配 2) 体幹の骨格と筋 (1) 脊柱 (2) 胸郭 (3) 背部の筋 (4) 胸部の筋 (5) 腹部の筋 3) 筋の収縮 (1) 骨格筋の収縮機構・種類と特性	講義

	4) 頭頸部の骨格と筋 (1) 脳頭蓋 (2) 顔面頭蓋 (3) 頭部の筋 (4) 頸部の筋	
7回目	上肢の筋 1. からだの支持と運動 1) 上肢の骨格と筋 (1) 上肢帯の骨格 (2) 自由上肢の骨格 (3) 上肢帯の筋群 (4) 上腕の筋群 (5) 前腕の筋群 (6) 手の筋群 (7) 上肢の運動	講義
8回目	下肢の筋 1. からだの支持と運動 1) 下肢の骨格と筋 (1) 下肢帯と骨盤 (2) 自由下肢の骨格 (3) 下肢帯の筋群 (4) 大腿の筋群 (5) 下肢の筋 (6) 足の筋 (7) 下肢の運動	講義
9回目	知覚の経路 1. 脊髄の構造 2. 脊髄の機能による分類 3. 脊髄神経の構造と機能 体性感覚 1. 体性感覚を司る神経系 1) 体性感覚の受容器の種類 2) 皮膚の感覚受容器の分布と上行伝導路	講義
10回目	運動の経路 1. 運動を司る神経系 1) 運動機能と神経伝達(下行伝導路)	講義
11回目	自律神経 1. 不随意筋の収縮と特徴	講義
12回目	精巣のしくみ IV 生殖・発生と老化のしくみ 1. 男性生殖器 1) 精巣 2) 精路と付属生殖器 3) 男性の外陰部 4) 男性の生殖器脳	講義
13回目	卵巣のしくみ IV 生殖・発生と老化のしくみ 2. 女性生殖器 1) 卵巣 2) 卵管・子宮・膣 3) 女性の外陰部と会陰 4) 乳腺 5) 女性の生殖機能	講義
14回目	新世代の形成 IV 生殖・発生と老化のしくみ 3. 受精と胎児の発生 1) 生殖細胞と女性 2) 初期発生 3) 胎児と胎盤	講義
15回目	老化 IV 生殖・発生と老化のしくみ 4. 成長と老化 1) 小児期の成長 2) 老化	講義
評価	授業内で評価(100点)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次6月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 原子の基本構造、化学結合と分子、イオン、水と油に関する基本的な知識を整理する。 2. 三大栄養素の消化と吸収、代謝の基本を理解する。 3. 呼吸器の構造、外呼吸、内呼吸、細胞代謝の基本的事項を理解する。 4. 内分泌器官の構造と働き、生殖の基本的事項を理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	原子の基本構造とイオン、水と油、化学結合	講義
2回目	炭水化物、デンプンの加水分解と糖、解糖とエネルギー	講義
3回目	タンパク、アミノ酸の構造、消化酵素	講義
4回目	胃の構造と機能、消化における膵臓、十二指腸の機能	講義
5回目	脂質とは何か、脂肪酸と中性脂肪、リパーゼ	講義
6回目	消化管総論、蠕動運動、自律神経、肝臓、胆嚢、胆管	講義
7回目	呼吸器の構造と機能、スパイロメトリー、外呼吸	講義
8回目	内呼吸、ミトコンドリア、好気性および嫌気性代謝	講義
9回目	呼吸とpH調節、Hendersonの式	講義
10回目	内分泌序論、内分泌器官、下垂体前葉と視床下部	講義
11回目	下垂体後葉、甲状腺、カルシウム調節	講義
12回目	膵臓ラ氏島と血糖調節、副腎皮質ホルモン	講義
13回目	性ホルモン、卵巣周期、受精	講義
14回目	腎臓の構造、尿細管の構造と働き	講義
15回目	総復習、消化吸収と呼吸、pH、内分泌と生殖	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	人体の構造と機能Ⅳ	
単 位	1 単位：30 時間	
開講期	1 年次 10 月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 腎・泌尿器系の構造と機能を理解する。 2. 感覚器系の構造と機能を理解する。 3. イオンや物質の膜輸送を支える分子とその働きについて理解する。 4. 神経・脳の構造と機能、脳波、記憶と学習、老化や各種脳疾患について理解する。 5. 筋肉の構造と動作の仕組み、調節について理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1 回目	腎臓のホルモン調節と体液量、血圧調節	講義
2 回目	腎臓と肺による血液の pH 調節、ホメオスタシス	講義
3 回目	排泄、腎クリアランス	講義
4 回目	睡眠と脳波の異常、脳死、脳の全体構造、脳各部の名称と機能	講義
5 回目	光情報の受容と脳への伝達経路、脳の情報処理	講義
6 回目	実習形式で触覚閾値、弁別域、痛覚、平衡感覚	演習
7 回目	音情報の受容と閾値、外耳・中耳・内耳の構造と機能、音の周波数	講義
8 回目	味覚と閾値、実習形式でデータの科学的な取得・解析を学ぶ、栄養素と摂食調節、体温調節	演習
9 回目	イオンチャンネルとトランスポーター	講義
10 回目	細胞内外のイオン分布の不均一とナトリウムポンプ	講義
11 回目	神経の基本構造、神経軸索と活動電位、グリア細胞	講義
12 回目	神経伝達物質と受容体、シナプス、EPSP、活動電位と閾値	講義
13 回目	筋肉の構造と動作の仕組み、反射	講義
14 回目	記憶と学習、可塑性、各種脳疾患、老化	講義
15 回目	総復習 全範囲	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	病理学	
単 位	1単位：15時間	
開講期	1年次7月	
講師名	医師	
目 標	疾病の原因や発生病理、形態と機能及び代謝の変化の原理を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	病理学とは 看護と病理学 1. 病理学とは 2. 治療にいける病理学の役割 3. 看護における病理学の意義 病気の原因 1 内因 2 外因 3 医原病と公害病	講義
2回目	細胞・組織の障害と修復	講義
3回目	循環障害 疾病の分類 3. 循環障害 (1) 循環器系の概要 (2) 局所性の循環障害 (3) 全身性の循環障害 (4) リンパの循環障害	講義
4回目	炎症・免疫 病理的变化 4. 炎症 (1) 急性の炎症・慢性の炎症 (2) 炎症の兆候と病変 (3) 炎症の種類 疾病の分類 4. 免疫・膠原病 (1) 免疫 (2) アレルギーと自己免疫疾患、膠原病 (3) 移植と免疫	講義
5回目	代謝障害 疾病の分類 2. 代謝障害 (1) 細胞の損傷と適応 (2) 物質沈着 (3) 脂質代謝障害と疾患 (4) タンパク質代謝障害と疾患 (5) 糖質代謝障害と疾患 (6) その他の代謝障害と疾患	講義
6回目	先天異常と遺伝子異常 疾病の分類 1. 先天異常と遺伝子異常 (1) 先天異常とは (2) 遺伝子異常 (3) 遺伝性疾患 (4) 染色体異常による疾患 (5) 胎児の障害 (6) 先天異常・遺伝子疾患の診断	講義
7回目	腫瘍 6. 腫瘍 (1) 腫瘍の定義と分類 (2) 腫瘍の発生病理 (3) 悪性腫瘍の転移と進行度 (4) 腫瘍の診断と治療 (5) 腫瘍の統計 1) 全体の傾向 2) 部位別に見た傾向 3) 罹患統計	講義
8回目	病理学演習 (顕微鏡を用いて) (45分)	演習

評価	筆記試験（100点）
使用テキスト	疾病の成り立ちと回復の促進（1） 病理学 医学書院
参考文献	
その他	

科目・教育内容

科目名	生化学	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	生体を構成している化合物の成り立ち、代謝・遺伝子について理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	生化学を学ぶための基礎知識 1. 生体を構成する物質 1) 生化学を学ぶための基礎知識	講義
2回目	タンパク質の構造と性質 1. 生体を構成する物質 1) タンパク質	講義
3回目	酵素の性質と働き 1. 生体内の物質代謝 1) 酵素 2) ビタミンと補酵素	講義
4回目	糖質の構造 1. 生体を構成する物質 1) 糖質の性質	講義
5回目	糖質の代謝 1. 生体内の物質代謝 1) 糖質代謝	講義
6回目	脂質の構造 1. 生体を構成する物質 1) 脂質の性質	講義
7回目	脂質の代謝 1. 生体内の物質代謝 1) 脂質代謝	講義
8回目	タンパク質の代謝 1. 生体内の物質代謝 1) タンパク質代謝	講義
9回目	代謝まとめ	講義
10回目	核酸の役割1 1. 生体を構成する物質 1) 核酸の性質	講義
11回目	核酸の役割2 1. 生体内の物質代謝 1) 核酸代謝	講義
12回目	ガンの生物学 バイオテクノロジー オーダーメイド医療など	講義
13回目	体液に含まれる物質の生化学	講義



14回目	血液・尿の生化学	講義
15回目	国家試験対策	講義
評価	筆記試験（100点）	
使用テキスト	わかりやすい生化学 ニューヴェルヒロカワ	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	栄養学	
単 位	15時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	栄養・食物・食品に関する基礎的知識を学び、健康を維持するために必要な食生活・食育について理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	第1章人間栄養学と看護について 第5章食事と食品 第7章栄養状態の評価・判定 1. 栄養学とは 2. 栄養状態の評価・判定法	講義
2回目	第2章栄養素の種類とはたらき 3. 糖質	講義
3回目	第2章栄養素の種類とはたらき 4. 脂質 5. タンパク質	講義
4回目	第2章栄養素の種類とはたらき 6. ビタミン	講義
5回目	第2章栄養素の種類とはたらき 第3章食物の消化と栄養素の吸収・代謝 7. ミネラル 8. 食物の消化 9. 吸収	講義
6回目	第3章食物の消化と栄養素の吸収・代謝 10. 血漿成分と栄養素 11. 肝臓の働き	講義
7回目	第4章エネルギー代謝 12. エネルギー代謝	講義
8回目	第6章栄養ケア・マネジメント 第8章ライフステージと栄養 13. 栄養ケア・マネジメント 14. 臨床検査について	講義
評価	筆記試験(100点)	
使用テキスト	系看 人体の構造と機能(3) 栄養学	
参考文献	配布資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	臨床栄養	
単 位	1 単位：30 時間	
開講期	2 年次 6 月	
講師名	医師、栄養士	
目 標	1. 栄養学での学習を基に食事療法・食事指導について理解する 2. 食事療法・指導に必要な食材・食品の選択、調理の工夫について学ぶ	
授業内容・予定		授業形態
1 回目	1. 病人食の特徴と種類 1) 形態的分類 2) 化学療法中の食事 3) ソフト食試食	講義
2 回目	2. 病人食の特徴と種類 1) 成分的分類 2) 栄養スクリーニング 3) アセスメント 4) 味覚・咀嚼障害などへの調理方法の工夫	講義 グループ ワーク
3 回目	3. 食生活と栄養食事療法 4. 医療・福祉の場における栄養食事療法	講義
4 回目	5. 医療保険制度・介護保険制度と食事	講義
5 回目	6. 消化器疾患患者の栄養食事療法の原則 1) 胃炎 2) 胃・十二指腸潰瘍 3) 過敏性腸症候群 4) 便秘・下痢 5) 脂肪肝 6) 膵炎 7) 胆石症・胆のう炎	講義
6 回目	7. 術前・術後の栄養管理 1) 術前術後の栄養管理の原則 2) 胃の摘出手術 3) 大腸がんの手術 4) 循環器の手術	講義
7 回目	8. 妊産婦・小児疾患患者の栄養食事療法の原則 1) 妊産婦の栄養と食事 2) 更年期の栄養と食事	講義
8 回目	9. 高齢者の栄養と食事 1) 高齢者の栄養管理の基本 2) 骨粗鬆症	講義
9 回目	10. 症状を持つ患者の栄養食事療法 1) ショック 2) 発熱・低体温 3) 脱水・浮腫 4) やせ・過体重 5) 摂食・嚥下障害	講義

	1 1. 呼吸器疾患患者の栄養食事療法 1) 肺炎 2) 急性呼吸不全 3) 慢性閉塞性肺疾患	
1 0 回目	1 2. 循環器疾患患者の栄養食事療法 1) 高血圧症 2) 動脈硬化症 3) 虚血性心疾患 4) うっ血性心不全 5) 脳血管障害 1 3. 腎・泌尿器疾患患者の栄養食事療法 1) 腎疾患 2) 泌尿器疾患	講義
1 1 回目	1 4. 栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法 1) 肥満 2) エネルギー・タンパク質欠乏症 3) ビタミン・ミネラル欠乏症 4) 糖尿病 5) 脂質異常症 6) 高尿酸血症・痛風 1 5. 血液疾患患者の栄養食事療法 1) 鉄欠乏性貧血 2) 巨赤芽球性貧血 3) 白血病	講義
1 2 回目	1 6. 熱傷・褥瘡の栄養食事療法 1) 熱傷 2) 褥瘡 1 7. 精神・神経疾患患者の栄養食事療法 1) 摂食障害 2) アルコール依存症	講義
1 3 回目	1 8. 栄養食事指導の実際① 1) 高血圧症患者の食事 2) 心不全患者の食事 3) 肝硬変患者の食事 4) 腎不全患者の食事	講義
1 4 回目	5) 脂質異常患者の食事 6) 鉄欠乏性貧血患者の食事 7) 骨粗鬆症患者の食事 8) 嚥下・咀嚼障害患者の食事	講義
1 5 回目	1 9. 栄養食事指導の実際 9) 糖尿病患者の食事 1 0) 胃術後患者の食事	グループ ワーク
評価	筆記試験	
使用テキスト	医学書院：系看（別巻）栄養食事療法	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	薬理学 I	
単 位	1 単位：15 時間	
開講期	1 年次 9 月	
講師名	非常勤講師	
目 標	薬物の特徴、作用機序及び有害作用等について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1 回目	薬理学総論 I 1. 薬物治療・薬剤とは何か 2. 薬の作用・経路	講義
2 回目	薬理学総論 II 1. 薬効に影響する因子 2. 薬物中毒(薬害) 3. 薬の管理 薬剤・薬物療法に伴う法 管理・使用に伴う事故・事故防止を含む 4. 新薬・治療薬	講義
3 回目	薬理学総論 III	講義
4 回目	末梢神経系作用薬/自律神経作用薬 I 1. 薬はどのように体内をめぐっていくのか 吸収・分布・代謝・排泄・半減期・薬物の血中濃度	講義
5 回目	末梢神経系作用薬/副交感神経作用薬 II 1. 薬はどのように体内をめぐっていくのか 吸収・分布・代謝・排泄・半減期・薬物の血中濃度	講義
6 回目	中枢神経作用薬 I 1. 薬はどのように体内をめぐっていくのか 吸収・分布・代謝・排泄・半減期・薬物の血中濃度	講義
7 回目	中枢神経作用薬 II 1. 薬はどのように体内をめぐっていくのか 吸収・分布・代謝・排泄・半減期・薬物の血中濃度	講義
8 回目	中枢神経作用薬 III 1. 薬はどのように体内をめぐっていくのか 吸収・分布・代謝・排泄・半減期・薬物の血中濃度	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	わかりやすい薬理学 第3版 ニューヴェルヒロカワ	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	薬理学Ⅱ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	2年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	薬理学各論として、各薬物治療の基本事項と薬剤の特徴・管理について学ぶ	
授業内容・予定		授業形態
1回目	中枢神経作用薬Ⅰ	講義
2回目	中枢神経作用薬Ⅱ（疼痛）	講義
3回目	中枢神経作用薬Ⅲ（神経）	講義
4回目	血液・造血器系作用薬	講義
5回目	抗炎症薬	講義
6回目	呼吸器系作用薬	講義
7回目	消化器系作用薬Ⅰ	講義
8回目	消化器系作用薬Ⅱ	講義
9回目	ホルモン系・生殖器系作用薬（糖尿病）	講義
10回目	ホルモン系・生殖器系作用薬（甲状腺・骨粗鬆症）	講義
11回目	抗感染症薬Ⅰ	講義
12回目	抗感染症薬Ⅱ	講義
13回目	抗悪性腫瘍薬Ⅰ	講義
14回目	抗悪性腫瘍薬Ⅱ	講義
15回目	漢方薬	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	ヌーヴェルヒロカワ：わかりやすい薬理学 第3版	
参考文献	資料、確認問題	
その他		

科目・教育内容

科目名	微生物学	
単 位	1年次：30時間	
開講期	1年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	微生物の種類と特徴、人体に及ぼす影響と感染予防について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	微生物学の歴史 及び生物学的位置 1. 微生物学の歴史 2. 微生物の生物学的位置	講義
2回目	構造と機能、分裂と増殖 3. 細菌の性質 ・構造と機能 ・分裂と増殖	講義
3回目	物質輸送 環境適応 遺伝子の伝達方法 3. 細菌の性質 ・物質輸送と環境適応 ・遺伝子の伝達方法	講義
4回目	常在細菌叢 真菌の形態 増殖 3. 細菌の性質 ・常在細菌叢 4. 真菌の性質 ・形態と特徴 ・増殖	講義
5回目	ウイルスの構造 機能 増殖 及び疾患 5. ウイルスの性質 ・構造と機能 ・増殖	講義
6回目	感染と感染症 6. 感染と感染症 1) 感染症と感染経路 2) 細菌の感染機構 3) 細菌性食中毒	講義
7回目	免疫のしくみ 7. 感染に対する生体防御機構 1) 免疫のしくみ	講義
8回目	消毒・滅菌 8. 感染症の予防 1) 滅菌と消毒 2) 消毒と消毒液	講義
9回目	感染症の診断方法 9. 感染症の診断 1) 病原体を検出する方法 2) 生体の反応から診断する方法	講義

10回目	抗生剤 院内感染 10. 感染症の治療 1) 抗生物質 2) 抗生物質の副作用 3) 感受性の測定方法 11. 感染症の現状と対策 1) 院内感染	講義
11回目	グラム陽性球菌 グラム陰性球菌 12. 病原細菌と細菌感染症 1) グラム陽性球菌 ・ブドウ球菌属 ・レンサ球菌属 (肺炎球菌) 2) グラム陰性球菌 ・ナイセリア属 (淋菌、髄膜炎筋)	講義
12回目	グラム陰性好気性桿菌 12. 病原細菌と細菌感染症 3) グラム陰性好気性桿菌 ・緑膿菌 ・レジオネラ属 ・ブルセラ属 ・フランシセラ属 (野兔病菌) ・ボルデテラ属 (百日咳)	講義
13回目	グラム陰性通性菌 カンピロバクター属 ヘリコバクター属 12. 病原細菌と細菌感染症 4) グラム陰性通性菌 ・腸内細菌科 大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、セラチア属、ビブリオ属、インフルエンザ菌 5) カンピロバクター属とヘリコバクター属	講義
14回目	グラム陽性桿菌 抗酸菌 嫌気性菌 12. 病原細菌と細菌感染症 6) グラム陽性桿菌 ・バシラス属 ・コリネバクテリウム属 7) 抗酸菌 ・マイクバクテリウム属 (結核菌) 8) 嫌気性菌 ・クロストリジウム属	講義
15回目	授業総括	講義
評価	筆記試験 (100点)	
使用テキスト	系看 疾病の成り立ちと回復の促進 (4) 微生物学 医学書院	
参考文献	資料	
その他		



科目・教育内容

科目名	治療総論		
単 位	1単位：30時間		
開講期	1年次9月		
講師名	医師		
目 標	1. リハビリテーション療法について理解する。 2. 麻酔の種類と方法について理解する。 3. 救急蘇生法について理解する。		
	授業内容・予定	担当講師	授業形態
1回目	放射線療法 1) 放射線医学の発達 2) X線診断 3) 超音波診断		講義
2回目	4) MRI 5) 核医学診断 6) 血管造影		講義
3回目	7) I VR		講義
4回目	8) 放射線治療		講義
5回目	9) 放射線治療と看護		講義
6回目	リハビリテーション 1) リハビリテーションの定義と理念		講義
7回目	2) 障害者の実態		講義
8回目	3) 障害の分類と構造		講義
9回目	4) リハビリテーション医療システム		講義
10回目	5) 運動器系・中枢神経系の障害とリハビリテーション		講義
11回目	麻酔法 1) 麻酔とは 2) 麻酔の種類 3) 手術前の管理		講義
12回目	4) 手術中の管理		講義
13回目	5) 手術後の管理 6) 全身麻酔 7) 局所麻酔		講義
14回目	救急蘇生 1) 救急処置の範囲と対象 2) 救急処置法の原則 3) 心肺蘇生法 (1) 一次救命処置 (BLS) (2) 二次救命処置 (ACLS)		講義
15回目	救急蘇生法の実際		演習
評価	*放射線療法(30点)、リハビリテーション(40点)、麻酔法・救急蘇生(30点)		
使用テキスト	臨床放射線医学 医学書院 リハビリテーション看護 医学書院 臨床外科看護総論 医学書院		
参考文献			
その他			

科目・教育内容

科目名	病態治療論 I	
単 位	1 単位：30 時間	
開講期	1 年次 9 月	
講師名	医師	
目 標	呼吸器・循環器系にみられる障害、診断、治療について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1 回目	循環器 1) 循環器の構造と機能、症状、病態生理	講義
2 回目	2) 循環器疾患の検査、処置	講義
3 回目	3) 血圧異常 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
4 回目	4) 虚血性心疾患 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
5 回目	5) 不整脈 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
6 回目	6) 弁膜症・心筋症 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
7 回目	呼吸器 1) 呼吸器の構造と機能 2) 症状とその病態生理 3) 検査と治療・処置 酸素療法	講義
8 回目	4) 疾患の理解 間質性肺炎 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
9 回目	気管支喘息・COPD (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
10 回目	気管支拡張症	講義
11 回目	細菌性肺炎 インフルエンザ (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
12 回目	結核 肺腫瘍 (症状・症候とその病態生理、検査と治療処置)	講義
13 回目	循環器外科 外科治療を必要とする循環器疾患の病態生理、検査、治療、治療による合併症、退院後の生活への影響 1) 循環器の構造と機能 2) 診察と検査 3) 外科的治療の目的と方法 4) 手術 5) 人工心肺装置	講義
14 回目	6) 循環器外科各論	講義

15回目	7) 先天性心疾患と外科的治療	講義
評価	*呼吸器(40点)、循環器(40点)、 循環器外科(20点)	
使用テキスト	成人看護学(2)呼吸器 医学書院 成人看護学(3)循環器 医学書院 臨床外科看護各論 医学書院	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	病態治療論Ⅱ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	1年次10月	
講師名	医師	
目 標	1. 消化器系にみられる障害、診断、治療について理解する。 2. 呼吸器系（肺）障害の外科的治療について理解する。 3. 甲状腺障害の外科的治療について理解する。 4. 女性生殖器系にみられる障害、診断、治療について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	<消化吸収障害：8時間> 1. 消化器の構造と機能 2. 症状・症候とその病態生理 3. 検査と治療処置	講義
2回目	疾患の理解 食道癌、食道静脈瘤	講義
3回目	疾患の理解 胃・十二指腸潰瘍、胃癌、腹膜炎	講義
4回目	疾患の理解 腸炎、消化管虫室、腸ポリープ、大腸癌	講義
5回目	<消化吸収障害：6時間> 1. 消化器の構造と機能 2. 症状・症候とその病態生理 3. 検査と治療処置 4. 疾患の理解：急性肝炎・慢性肝炎	講義
6回目	疾患の理解 肝硬変、肝臓癌	講義
7回目	疾患の理解 胆嚢炎、胆石症、急性膵炎・慢性膵炎、膵臓癌	講義
8回目	呼吸障害（外科） 外科的治療が必要な疾患：肺癌（肺切除術）	講義
9回目	1. 内部環境調節機能障害（外科） 甲状腺腫瘍 消化吸収障害（外科） 大腸癌、肛門疾患、虫垂炎	講義
10回目	消化吸収障害（外科） 食道癌、胃癌、ヘルニア、イレウス	講義
11回目	消化吸収障害（外科） 肝臓癌、胆石症、腹部外傷	講義
12回目	2. 乳腺の疾患（外科） 乳がん、その他の乳腺疾患（乳腺症、線維腺腫、乳腺炎、女性化乳房）	講義

13回目	女性生殖器系の障害 1. 女性生殖器の構造と機能 2. 症状と病態生理	講義
14回目	3. 診察・検査と治療処置	講義
15回目	4. 疾患の理解 性染色体異常、膣炎、子宮癌、子宮筋腫、子宮内膜症、胞状奇胎、絨毛癌、 卵管炎、付属器炎、子宮外妊娠、卵巣腫瘍、更年期障害	講義
評価	*消化吸収障害（40点） 消化吸収障害、内部環境調節機能障害、乳腺の疾患<外科>（35点） 呼吸障害<外科>（10点） 女性生殖器系の障害（15点）	
使用テキスト	成人看護学（5）消化器 医学書院 成人看護学（9）女性生殖器 医学書院 臨床外科看護各論 医学書院	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	病態治療論Ⅲ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	2年次4月	
講師名	医師	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 排泄機能に障害のある患者の症状、検査、治療、処置について理解する</li> <li>2. 排泄機能に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>3. 腎・泌尿器系に障害がある患者の外科的治療について理解する</li> <li>4. 内分泌機能に障害のある患者の症状、検査、治療、処置について理解する</li> <li>5. 内分泌機能に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>6. 感覚器（耳鼻咽喉）に障害のある患者の症状、検査、治療、処置について理解する</li> <li>7. 感覚器障害（耳鼻咽喉）のある患者の疾患について理解する</li> </ol>	
授業内容・予定		授業形態
1回目	排泄機能障害 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 腎不全と慢性腎臓病               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
2回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 全身性疾患による腎障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
3回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 尿細管間質性腎炎               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
4回目	排泄機能障害（外科） <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 尿路・性器の感染症、尿路損傷および異物、尿路結石症、発生・発育の異常、男性不妊症、勃起障害、その他の男性生殖器疾患               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
5回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 尿路・性器の腫瘍               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
6回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 前立腺肥大症、排尿障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
7回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 腎不全               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義

8回目	内分泌機能障害① 1. ホルモン系、甲状腺、副腎 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
9回目	内分泌機能障害② 2. 甲状腺疾患 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
10回目	内分泌機能障害③ 3. 糖尿病 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
11回目	内分泌機能障害④ 4. 脂質異常症 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
12回目	耳鼻咽喉疾患 1. 耳鼻咽喉の解剖、基礎知識について	講義
13回目	2. 耳疾患（急性化膿性中耳炎、慢性中耳炎、メニエール病、老人性難聴、突発性難聴、 聴神経腫瘍、顔面神経麻痺） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
14回目	3. 鼻疾患（鼻中隔湾曲症、鼻出血、急性鼻炎、副鼻腔炎） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
15回目	4. 咽喉の疾患（上顎癌、扁桃炎、下咽頭癌、流行性耳下腺炎、咽頭炎、喉頭（声帯）ポ リープ、喉頭癌、気道異物） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	病態治療論Ⅳ	
単 位	1単位：30時間	
開講期	2年次5月	
講師名	医師	
目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動器系に障害のある患者の症状、検査、治療・処置について理解する</li> <li>2. 運動器系に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>3. 人体防御機構に障害のある患者の症状、検査、治療・処置について理解する</li> <li>4. 人体防御機構に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>5. 血液・造血器に障害のある患者の症状、検査、治療・処置について理解する</li> <li>6. 血液・造血器に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>7. 歯科・口腔に障害のある患者の症状、検査、治療・処置について理解する</li> <li>8. 歯科・口腔に障害のある患者の疾患について理解する</li> </ol>	
授業内容・予定		授業形態
1回目	運動器 1. 整形外科総論	講義
2回目	2. 外傷性疾患（骨折） 1) 症状とその病態生理 2) 診断・検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
3回目	3. 外傷性疾患（脱臼、捻挫及び打撲、脊髄損傷、末梢神経損傷、筋・腱・靭帯などの損傷） 1) 症状とその病態生理 2) 診断・検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
4回目	4. 骨系統疾患（先天性疾患、骨髄炎、変形性関節症） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
5回目	5. 関節リウマチ、骨腫瘍及び軟部腫瘍 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
6回目	6. 筋および腱の疾患、代謝性骨疾患 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
7回目	7. 脊椎の疾患（頸部脊髄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、脊髄腫瘍） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
8回目	人体防御機構の障害 1. アレルギー・自己免疫疾患とその機序	講義



9回目	<p>人体防御機構</p> <p>2. リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群 全身性硬化症（強皮症）、多発性筋炎及び皮膚筋炎</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
10回目	<p>血液・造血器</p> <p>1. 総論</p> <p>2. 赤血球性疾患（鉄欠乏性貧血、鉄代謝異常による貧血、巨赤芽球性貧血）</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
11回目	<p>3. 赤血球性疾患（再生不良性貧血、溶血性貧血、二次性貧血）</p> <p>4. 白血球系の異常</p> <p>5. 造血器腫瘍（白血病、骨髄異形成症候群）</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
12回目	<p>6. 造血器腫瘍（骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、骨髄腫）</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
13回目	<p>7. 出血性疾患（播種性血管内凝固症候群、アレルギー性紫斑病、 血小板減少性紫斑病、血友病）</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p> <p>8. HIV感染症と日和見感染症</p>	講義
14回目	<p>歯・口腔</p> <p>1. 齦蝕及び歯髄疾患、歯周組織の疾患、齦蝕に継発する疾患、顎骨骨折、顎関節症、顎関節脱臼</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
15回目	<p>2. 口腔粘膜の疾患、口腔領域の嚢胞、口腔領域の腫瘍及び腫瘍類似疾患、口腔領域の悪性腫瘍</p> <p>1) 症状とその病態生理</p> <p>2) 検査と治療・処置</p> <p>3) 疾患の理解</p>	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	<p>医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器</p> <p>医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病・感染症</p> <p>医学書院：専門Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器</p> <p>医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑮ 歯・口腔</p>	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	病態治療論V	
単 位	1単位：30時間	
開講期	2年次4月	
講師名	医師	
目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経機能に障害のある患者の症状、検査、治療処置について理解する</li> <li>2. 中枢神経機能に障害のある患者の疾患について理解する</li> <li>3. 中枢神経機能に障害のある患者の外科的治療について理解する</li> <li>4. 感覚器（眼・皮膚）に障害のある患者の症状、検査、治療処置について理解する</li> <li>5. 感覚器（眼・皮膚）に障害のある患者の疾患について理解する</li> </ol>	
授業内容・予定		授業形態
1回目	中枢神経障害 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経解剖、神経生理、画像診断について</li> </ol>	講義
2回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 脳梗塞               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
3回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 脳出血               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
4回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. クモ膜下出血、脳動脈瘤               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
5回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 脳腫瘍               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
6回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 頭部外傷               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
7回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>7. 水頭症、てんかん、炎症性疾患（脳炎、髄膜炎）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
8回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概論</li> <li>2. パーキンソン病（症候群）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> <li>3) 疾患の理解</li> </ol> </li> </ol>	講義
9回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 認知症、中毒               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状とその病態生理</li> <li>2) 検査・診断と治療・処置</li> </ol> </li> </ol>	講義

	3) 疾患の理解	
10回目	3. 筋委縮性側索硬化症、進行性筋ジストロフィー、多発性筋炎 1) 症状とその病態生理 2) 検査・診断と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
11回目	眼 1. 眼科総論	講義
12回目	2. 眼科各論（近視、遠視、乱視、老視、色覚異常、斜視、麦粒腫、眼瞼炎、眼瞼内反、睫毛乱生、眼瞼外反、兔眼、眼瞼下垂、細菌性結膜炎、流行性角結膜炎、アレルギー性結膜炎、翼状片、結膜乾燥症、虹彩炎・虹彩毛様体炎、糖尿病網膜症、網膜剥離、網膜色素変性、加齢黄斑変性、白内障、緑内障） 1) 症状とその病態生理 2) 検査と治療・処置 3) 疾患の理解	講義
13回目	皮膚 1. 湿疹、皮膚炎、蕁麻疹、紅斑症、薬疹、水疱症、嚢胞症、角化症、炎症性角化症、光線性皮膚疾患、熱傷、凍傷、放射線皮膚疾患、褥創、脂漏性角化症、悪性黒色腫、伝染性膿痂疹、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、蜂窩織炎、丹毒、白癬、皮膚・粘膜カンジタ症、単純疱疹、帯状疱疹、ツツガムシ病、疥癬、シラミ症 1) 症状とその病態生理 2) 検査・診断と治療・処置	講義
14回目	1. 湿疹、皮膚炎、蕁麻疹、紅斑症、薬疹、水疱症、嚢胞症、角化症、炎症性角化症、光線性皮膚疾患、熱傷、凍傷、放射線皮膚疾患、褥創、脂漏性角化症、悪性黒色腫、伝染性膿痂疹、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、蜂窩織炎、丹毒、白癬、皮膚・粘膜カンジタ症、単純疱疹、帯状疱疹、ツツガムシ病、疥癬、シラミ症 3) 疾患の理解	講義
15回目	1. 湿疹、皮膚炎、蕁麻疹、紅斑症、薬疹、水疱症、嚢胞症、角化症、炎症性角化症、光線性皮膚疾患、熱傷、凍傷、放射線皮膚疾患、褥創、脂漏性角化症、悪性黒色腫、伝染性膿痂疹、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群、蜂窩織炎、丹毒、白癬、皮膚・粘膜カンジタ症、単純疱疹、帯状疱疹、ツツガムシ病、疥癬、シラミ症 3) 疾患の理解	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑬ 眼 医学書院：専門Ⅱ 成人看護学⑫ 皮膚	
参考文献	資料	
その他		

科目・教育内容

科目名	生命倫理	
単 位	1単位：15時間	
開講期	3年次5月	
講師名	非常勤講師	
目 標	医療を取り巻く諸問題を通して人間としての考え方・生き方を学ぶ。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	授業計画の説明 生命倫理とは何か	講義
2回目	医の倫理について	講義
3回目	医の倫理について（続）及び「看護」の哲学について	講義
4回目	生殖医療の現状と問題点	講義
5回目	生殖医療の現状と問題点（続）及びこれまでの講義内容の復習	講義
6回目	脳死移植の生命倫理	講義
7回目 8回目	ターミナルケアにおける生命倫理	講義
評価	筆記試験（45分 100点）	
使用テキスト	毎回講義資料を配布	
参考文献	必要に応じて授業中に指示する	
その他	8回の講義の他に2回特別講義を行います。 特別講義①「少子超高齢社会と医療」 特別講義②「日本人の死生観について」	

科目・教育内容

科目名	保健医療論	
単 位	1単位：15時間	
開講期	1年次4月	
講師名	学校長	
目 標	1. 医療のあり方及び発展とそれに伴う諸問題について理解する。 2. 国立病院機構で行われている政策医療の特徴と役割を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	医学の歴史 古代	講義
2回目	医学の歴史 近代	講義
3回目	20世紀以降の医学	講義
4回目	健康 病気の原因	講義
5回目	新しい医療システム	講義
6回目	医学および看護の生命へのアプローチ	講義
7回目	政策医療の特徴と役割	講義
8回目	手について考える	講義
評価	試験 (100点)	
使用テキスト	別巻 医学概論 医学書院	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	公衆衛生学	
単 位	2単位：30時間	
開講期	1年次6月	
講師名	非常勤講師	
目 標	人々の健康を守るための組織的な保健活動を理解する。	
	授業内容・予定	授業形態
1回目	公衆衛生とは 健康とは 公衆衛生の歴史 公衆衛生の概念 (1) 公衆衛生の考え方と活動 (2) 公衆衛生の歴史	講義
2回目	保健統計：その1 健康の指標 (1) 人口問題 (2) 人口動態統計 (3) 健康状態と受療状況	講義
3回目	保健統計：その2 健康の指標 (1) 人口問題 (2) 人口動態統計 (3) 健康状態と受療状況	講義
4回目	疫学	講義
5回目	健康増進 健康日本21	講義
6回目	感染症の予防 感染症とその予防 (1) 感染症とは (2) 感染症の流行 (3) 感染症の種類 (4) 感染症の動向と感染症法の制定 (5) 感染症予防の基本	講義
7回目	主な疾病の予防 健康と環境・疫学的方法 (1) 健康の定義 (2) 健康と環境 (3) 集団検診 (4) 疫学的方法による健康の理解 (5) 演習(人間の一生と保健活動)	講義
8回目	環境保健 生活環境の保全 (1) わが国の環境保全対策 (2) 地球環境汚染 (3) 水・空気・土壌	講義

9回目	<p>地域保健 生活環境の保全 (4) 感覚公害 (騒音・振動・悪臭) (5) 公害健康被害補償制度 (6) ごみ・廃棄物 (7) 住環境</p>	講義
10回目	母子保健	講義
11回目	学校保健	講義
12回目	産業保健	講義
13回目	<p>老人保健 精神保健 国際保健 地域保健活動 (1) 地域保険法の成立と地域保健サービスの再構成 (2) 医療サービスの提供 (3) 保健・医療従事者 (4) 救急医療・災害医療 (5) ヘルスサービスの方向</p>	講義
14回目	<p>制度と法規 医療の制度 (1) 医療保障 (2) 医療保険 (3) 老人保健法による医療 (4) 公費医療 (5) 介護保険 (6) 国民医療費</p>	講義
15回目	授業の総括	講義
評価	筆記試験 (100点)	
使用テキスト	シンプル公衆衛生学2017 南江堂、国民衛生の動向 厚生労働統計協会	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	社会福祉	
単 位	2単位：30時間	
開講期	2年次4月	
講師名	非常勤講師	
目 標	1. 社会保障と社会福祉についての考え方を理解する 2. 社会保障と社会福祉に関連する制度や施策、保障内容を理解する	
授業内容・予定		
1回目	1. 現代社会における社会福祉 1) 現代社会における生活問題の特徴 2) 社会福祉と社会保障 3) 保健・医療・福祉の連携	講義
2回目	2. 保育と社会福祉 1) 少子化と保育 2) 保育にかかわる施策 3) 保育の福祉実践と課題	講義
3回目	3. 社会福祉の歴史 1) 欧米の社会福祉の歴史 2) 日本の社会福祉の歴史	講義
4回目	4. 社会福祉の法律と行政組織 1) 社会福祉の法律 2) 社会福祉の行政組織	講義
5回目	5. 社会福祉の民間活動 1) 社会福祉の民間活動とは 2) 社会福祉の民間活動の内容 3) 社会福祉の民間活動の課題	講義
6回目	6. 社会福祉従事者 1) 社会福祉従事者の現状と資格制度 2) 社会福祉従事者の専門性と倫理 3) 保健・医療関係分野の専門職との連携	講義
7回目	7. 社会福祉における相談援助 1) 相談援助の意義と原則 2) 相談援助の方法と技術	講義
8回目	8. 社会福祉における権利擁護 1) 情報提供と第三者評価 2) 利用者の権利擁護と苦情解決 3) 成年後見制度	講義
9回目	9. 生活保護 1) 生活保護の概要と制度 2) 生活保護の課題とは	講義
10回目	10. 児童家庭福祉 1) 児童家庭福祉の概要と制度 2) 児童家庭福祉の課題	講義
11回目	11. 高齢者福祉 1) 高齢者福祉の概要と制度	講義



	2) 高齢者福祉の課題	
1 2回目	1 2. 障害者福祉 1) 障害者福祉の概要と制度 2) 障害者福祉の課題	講義
1 3回目	1 3. 地域福祉 1) 地域福祉の概要 2) 地域福祉の課題	講義
1 4回目	1 4. 保健医療福祉 1) 保健医療福祉の概要と制度 2) 保健医療福祉の課題	講義
1 5回目	1 5. 社会福祉の今後の課題 1) 現代社会福祉を理解する難しさ 2) 社会福祉の課題のとらえ方 3) わが国における社会福祉の今後の課題	講義
評価	筆記試験 100点	
使用テキスト	医学書院：専門基礎 健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉	
参考文献		
その他		

科目・教育内容

科目名	関係法規	
単 位	1単位：15時間	
開講期	3年次 10月	
講師名	非常勤講師、教育主事	
目 標	保健医療福祉チームの職種の業務に関連する法律について理解する。	
授業内容・予定		授業形態
1回目	1. 法の概念	講義
2回目	2. 関連法規 1) 医事法 (医療法、医師法、医療関係資格法等)	講義
3回目	2. 関連法規 2) 労働法と社会基盤整備 (労働基準法、育児休業、個人情報保護法等)	講義
4回目	2. 関連法規 3) 保健衛生法 (地域保健法、母子保健法、学校保健法、予防接種法、食品安全基本法、食品衛生法等) 4) 環境衛生法、環境法 (環境基本法、大気汚染防止法等)	講義
5回目	2. 関連法規 5) 社会保険法 (健康保険法、国民健康保険法等) 6) 福祉法 (社会福祉法、児童福祉法等)	講義
6回目	2. 関連法規 7) 薬務法 (薬事法、麻薬及び向精神薬取締法等)	講義
7回目 8回目	3. 保健師助産師看護師法 1) 沿革 2) 目的 3) 定義 4) 免許・試験 5) 学校、養成所 6) 業務と責任 7) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義
評価	筆記試験	
使用テキスト	健康支援と社会保障制度 (4) 看護関係法令 : 医学書院	
参考文献		
その他		